

香流川・鴨田川の春を訪ねて

リバーサイドウォーキング・5

川・水が人や地域を潤し 社寺も多くは川べりにありました ただの偶然でしょうか

長久手市は地下鉄延長に伴い隣接する名東区の区画整理に続く区画整理の進行で野山や路地の片隅にあった多くの塚や石像が伝説の地から移設され、伝承文化が希薄になりました。その中で、河川も大きくその景観を変えましたが流れる湧水が住民の心を潤しているのでしょうか、香流川河畔は多くの皆さんの散歩コースになっています。

市街地内の鴨田川は三面張りの河川で明らかに生き物・鳥など数も種類も少なく散歩する人もあまりいません。これからはふるさと・人づくりを考えた「まちづくり」に方向転換することが望まれます。川は人を引き付け地域交流の場としての有用性に富んでいます。川と人のかかわりについて改めて見つめる長久手めぐりです。

4月23日(日)午前9時 商工会・駐車場 集合・出発 帰着予定:午前11時30分予定

コース:商工会駐車場⇒八郎左衛門の墓⇒香流川・野ざらし観音⇒原邸公園⇒鴨田公園・保育園⇒鴨田川⇒常照寺⇒景行天皇社⇒富士社⇒商工会駐車場

※一部階段なのでベビーカーでの参加は出来ません

・問合せ :長久手市商工会 0561-62-7111

雨天の場合中止になります



八左衛門の墓

香流川



野ざらし観音

原邸公園



新しい北保育園と隣接する鴨田公園



常照寺と三将の墓

八左エ衛門の墓：二百年程前の寛政年間の頃、当時の岩作村に八左衛門という人がいました。八左衛門は、生来の乱暴者で村人は大変困っておりまして。堪りかねて首から下を地面に埋めてこれを罰しました。衰弱していくうちに己の非を悟って、生涯を閉じるときに「頭下の病の有る者は、我に祈れ、必ず治してやる」と言い残して死んでいったそうです。その後、村人たちは、八左衛門は大変な大食家であったので、食物を供えて病気の治癒を祈るようになりました。今では近くの方が中心になり、このお地藏堂をお守り頂いております。(長久手市郷土史研究会HPより) 旧道に沿った水路沿いがありました

香流川：市内を源流とし市内を東西に横切る

野ざらし観音：夫の病平癒を祈願、願いがかない、以来、約35年近く近所の方たちと共に世話、お参りが絶えない。

もとは落合橋近くの道路沿いに、NKさんが区画整理で移設

原邸公園：芝生の広場や変わった遊具が人気。樹木も大きく育っています。

北保育園：古くなったため鴨田公園隣接地に移転

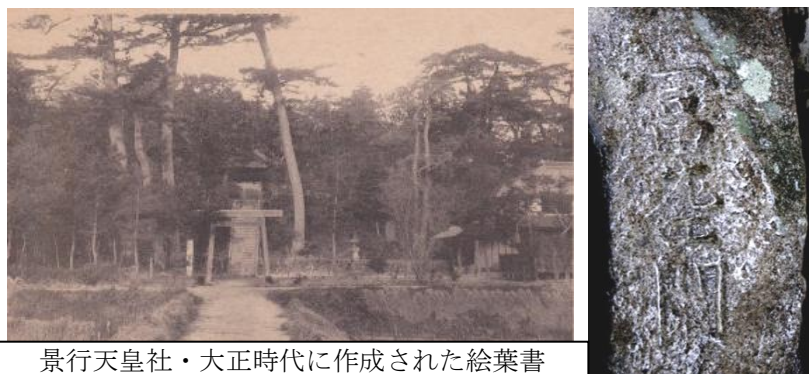
鴨田公園：広い芝生広場の空間、住宅地の中の広大な公園

鴨田川：景行天皇社の門前を横切り名東区に入って香流川と合流

常照寺：合戦後、戦死者を葬り、三将（池田恒興、池田元助、森長可）の墓を作り歴代住職がこの地で吊ってきた。天保4年5月隠居了庵にそのことを三将の子孫がいるのに知らないことに「嘆息し」社寺奉行宛の書状を託した様子、そののちのどうなったのか。本堂前の竜舌蘭も年代物。

景行天皇社：門前の石橋は城屋敷からの水路に門前を大きくカーブし伏せ越した鴨田川は図書館通りを越えたところで地上に現われる

富士社：長久手合戦の折、徳川家康が色金山で軍議の後、軍をすすめ金扇馬印を立てたところから、「御旗山」とも呼ばれる。山頂の社の前には富死エ門と刻まれた手水鉢（写真右）が、とずっと思ってきましたが、今日見たら「富左エ門」??



景行天皇社・大正時代に作成された絵葉書